第25回 日本乳癌学会学術総会

新たなる一歩 ーライフサイエンス研究の進歩ー

ランチョンセミナー20 ランチョンセミナーは整理券制です。

抗癌剤治療による脱毛を予防する!

- 新規抗酸化剤を用いた予防剤開発プロジェクト -
- ▶日時:2017年7月15日(土) 11:50~12:40
- ▶会場:福岡国際会議場 第3会場(福岡国際会議場 5F 国際会議室501)

大野 真司先生

がん研究会有明病院 乳腺センター長

大分大学医学部 消化器 小児外科学講座 教授









がん研究会有明病院 乳腺センター長

大野 真司 先生

略 歴

1984年3月 九州大学医学部卒業 [主な学会・資格] 1984年6月 九州大学医学部附属病院医員(研修医)(第二外科) 日本乳癌学会:理事•評議員 1989年9月 米国テキサス大学研究員(腫瘍学) 日本外科学会:幹事(1998-1999) 1992年1月 国立病院九州がんセンター医師(消化器部・外科) 日本消化器外科学会 1993年4月 九州大学医学部附属病院助手(第二外科) 日本癌治療学会:臨床研究委員 1997年12月 九州大学医学部附属病院併任講師(第二外科) 日本ハイパーサーミア学会:評議員 2000年4月 国立病院九州がんセンター乳腺科部長 日本胃癌学会 2011年6月 国立病院機構九州がんセンター外来部門責任者、 日本コンピューター外科学会 手術部門責任者、治験・臨床研究支援室長、 日本創傷治癒学会:評議員 相談支援・情報センター長 日本サイコオンコロジー学会 2012年7月 国立病院機構九州がんセンター 臨床腫瘍研究部長 米国臨床腫瘍学会(ASCO) 2014年6月 国立病院機構九州がんセンター 臨床研究センター長 米国外科学会(FACS) 2015年4月 がん研有明病院 乳腺センター長、 日本臨床腫瘍学会:多職種連携プログラム部会部会長 九州大学医学部非常勤講師、広島大学医学部客員教授、 日本がんサポーティブケア学会:患者・医療職教育部会委員 徳島大学医学部客員教授、九州大学大学院特別講師、 Surgery Today: Associate Editor 群馬大学非常勤講師 ESMO: Guideline member · Faculty The Breast: International advice committee

MEMO	







大分大学医学部 消化器·小児外科学講座 教授

猪股 雅史 先生

抗癌剤治療による脱毛を予防する! - 新規抗酸化剤を用いた予防剤開発プロジェクト -

猪股雅史1)、佐川倫子1)、河野洋平1)、平塚孝宏1)、 麻生 結子1)、衛藤 剛1)、後藤 瑞生2、波多野 豊2)、北野 正剛3) 1) 大分大学医学部 消化器・小児外科学講座 2) 大分大学医学部皮膚科学講座 3) 大分大学

【はじめに】がん患者の増加に伴い抗癌剤治療を受ける患 者が増えている。脱毛は心的ダメージの大きな副作用があ るにもかかわらずその有効な治療法は未だ存在しない。今 回我々は新規抗酸化剤であるαリポ酸誘導体を用いて、抗 癌剤治療後の脱毛に対する予防剤の開発を行った。

【脱毛予防剤の基礎研究】ラット抗癌剤誘発脱毛モデル を用い、ラットの背部皮膚にαリポ酸誘導体を含有した 軟膏;0% (ワセリンのみ), 0.5%, 1%, 5%, 10%を塗布 し、脱毛の程度、皮膚組織の病理解析を行った。1%塗布 群では、ワセリン群と比較し、著明な脱毛抑制効果を認め た。病理組織学では、1%塗布群は、毛根・毛幹の消失の 軽減および炎症細胞浸潤所見の減少を認めた。アポトー シスの指標であるカスパーゼ活性は、いずれの塗布群も

ワセリン群と比べ低値であった。

【乳癌患者を対象とした探索的臨床研究】乳癌患者を対 象として、術後抗癌剤投与期間中にαリポ酸誘導体1%含 有ローションの塗布を行った。その結果、脱毛随伴症状 (痛み、掻痒)の発生頻度が減少し、脱毛が著明に抑制さ れた症例も認めた。また3-4回/日塗布群は1回/日塗布群 と比較しその効果が高かった。

【乳癌患者を対象とした多施設共同臨床試験】2014年より 乳癌患者の術後補助化学療法による脱毛への効果を評価 する目的で、多施設共同臨床試験(αCIA trial)を行った。 2015年5月に100例の目標登録数に到達した。化学療法 終了後1年の追跡期間後に最終解析予定である。

【おわりに】αリポ酸誘導体の基礎研究および臨床研究にお いて、乳癌患者における抗癌剤治療後の脱毛は、αリポ酸 誘導体投与により抑制効果を示した。今後は、臨床試験の結 果と機序解明に基づき、脱毛予防剤の開発が期待される。

略 歴

1988年3月 大分医科大学医学部卒業 1988年6月 大分医科大学医学部附属病院外科第一(研修医) 1990年4月 国立病院九州がんセンター 乳腺部 国立がんセンター研究所 病理部 1994年5月 (対がん10カ年総合戦略・リサーチレジデント) 1997年3月 大分医科大学 大学院 修了 博士(医学)取得 2003年4月 大分大学医学部総合外科学第一 講師 2010年4月 大分大学医学部総合外科学第一 准教授

(消化器外科 副診療科長) 2011年9月 米国コーネル医科大学 大腸外科 (NY) Visiting fellow (厚生労働科学研究海外派遣事業)

2014年10月 大分大学医学部消化器・小児外科学講座 教授

[主な学会・資格]

日本内視鏡外科学会:技術認定取得医・評議員・理事

日本外科学会:指導医・専門医・代議員

日本消化器外科学会:指導医・専門医・評議員・理事

日本臨床外科学会:評議員・大分県支部事務局

日本創傷治癒学会:評議員

ASCO (American Society of Clinical Oncology): Active member ESMO (European Society of Medical Oncology): Active member

[特許取得]

がん化学療法誘発脱毛に対する抗脱毛用組成物 (特許第5578997号 2010年9月16日)

